

## <日中「孫文・梅屋庄吉」塾グループ討議結果>

### A班：今回の交流を活かそう

【問題提起】この交流がずっと続くためにはどうしたらいいか。

#### 【具体案】

○LINE やインスタグラム、ウィチャットなどのSNSの利用

- これらのSNSを通して、もしわからない中国語があれば、直接LINE や電話で中国語のレベルを上げられる。

○定期的な食事会、観光地巡り、お互いの学校訪問

- 対面で直接会ったり、みんなで旅行に行くことでさらに絆が深まる。

#### 【まとめ】

- 私たち中国人2人は春休みに帰国するので、みんなが中国に来てくれたら、中国の各地を案内したい。  
(行きたい場所：映画のロケ地になった場所や、万里の長城など)
- 孫文、宋慶齡についてあまり知らなかったなので、講演会のお話がとても勉強になった。
- 新しい日本の友達ができるとは想像していなかったので感動した。
- 今回の縁が切れないように、四葉のクローバーやハートや星で表現。



## B班：地域における国際交流

### 【具体案】

#### ○行政

##### ①外国人の相談窓口のPR

- まだ知らない外国人の方がたくさんいる。
- 日本人もそういう窓口や相談できる場所のことを知らない。と

##### ②料理教室の開催

- 料理を普段していない学生が多い。
- 留学生の中でも一人暮らしをしている人が多い。
- 意見交換ができたり、生活にも役立つ交流になると思う。

#### ○学校

##### ①言語に対するサポート

- 先生と話し合う時は一番緊張する。
- 同じ年代の若者同士なら気軽に話し合うことができる。
- 日本人学生による留学生への言語支援

#### ○行政と学校

##### ①スポーツ大会やゲーム大会の開催

- 一緒に体を動かし、様々な国のスポーツや文化を共有する。
- オンライン大会などインターネットを通じての交流も良い。

#### ○長崎県民

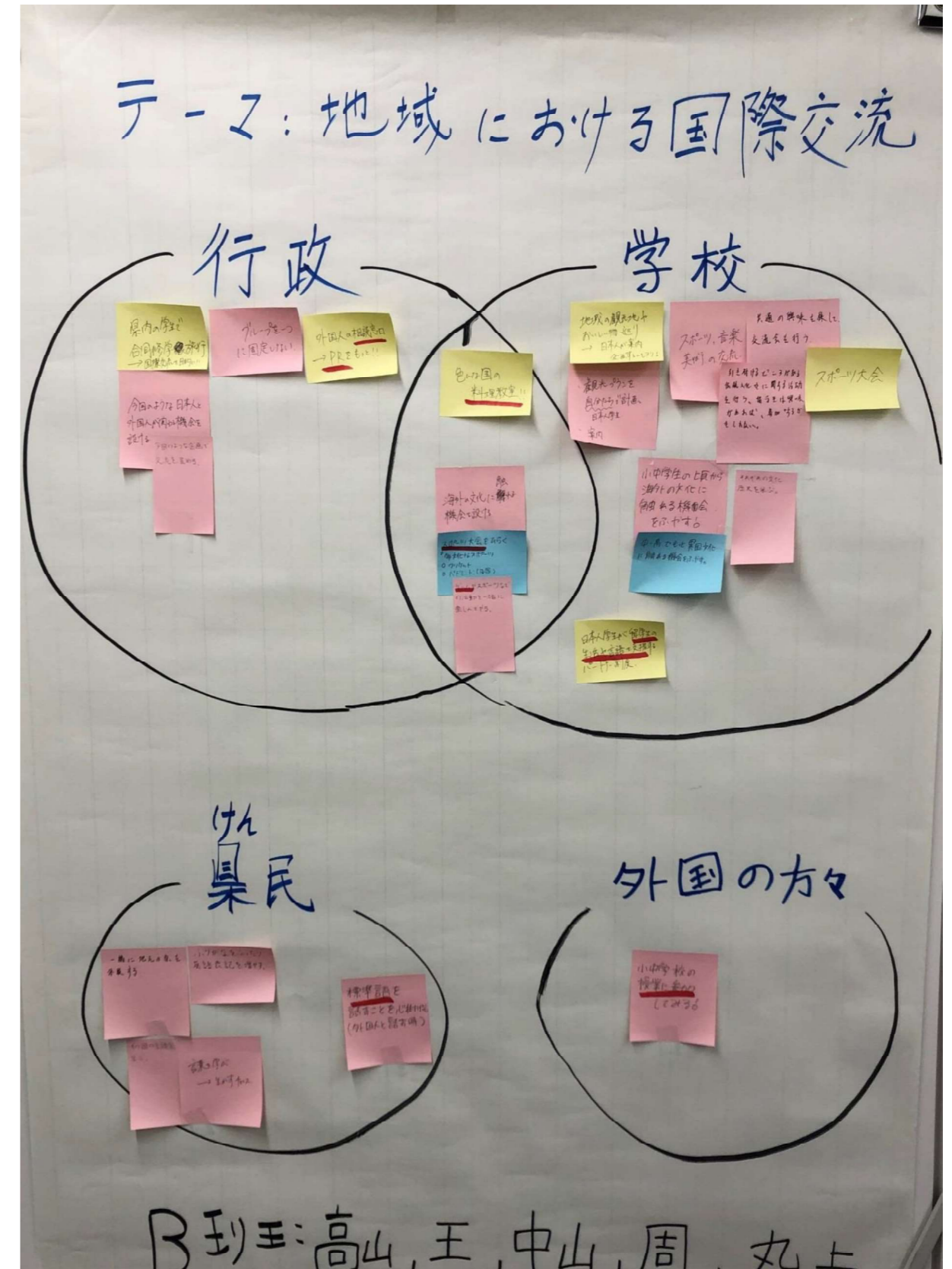
##### ①外国人へ標準語での声かけ

- 方言で話しかけられると分からないことがある。
- 標準語で話すことを心がけてみる。
- 時々は方言も教えてあげるのもとても良い。

#### ○外国人

##### ①小中学校の授業への参加

- 日本の小中学校の授業は全然知らない。
- 母国の小中学校との違いを知る。



## C班：地域における国際交流

### 【目指す姿】

高校生や大学生と長崎在住の留学生による「持続的な関係の構築」

- 学校の垣根を越えた国際交流により、バラエティに富んだ交流が同年代の県民にもたらすことが可能
- 世界各国の文化の多様性や違いを知り、受け入れる事を学ぶ場
- オープンキャンパス等の場よりも深く触れ合え、よりリアルな学校の情報が得られる機会

### 【具体案】

プラン①：ボランティア活動（海辺でのゴミ拾いなど）

- 留学生と日本の学生とのコミュニケーションの機会

プラン②：日本文化教室（料理教室、生花、剣道など）

- 共に日本独特の物に触れ合うことで日本文化を深く知る場
- 1年、2年のスパンで定期的に同じメンバーで活動

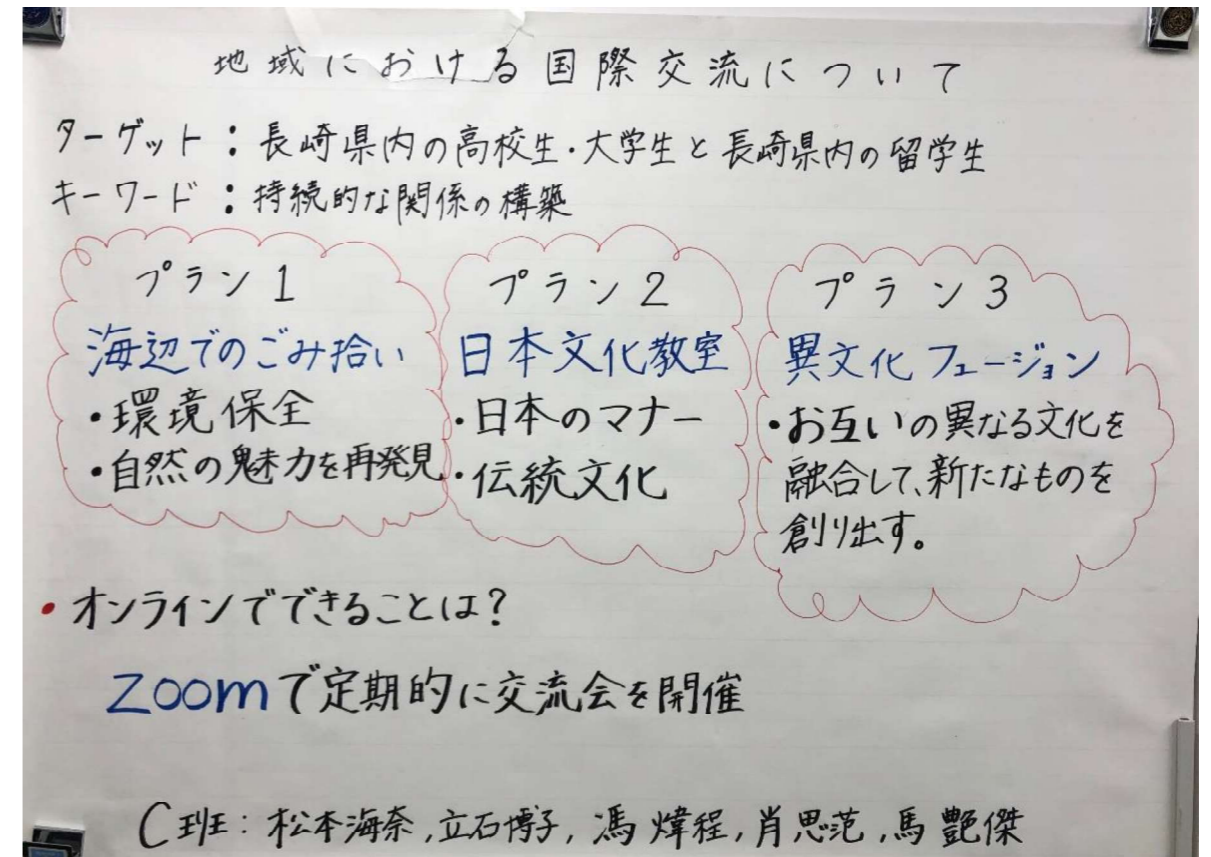
プラン③：異文化フュージョン（異文化を融合して新たなものの創出）

- 中国の麻婆豆腐と日本のカツ丼を組み合わせた弁当
- 日本文化の発信だけではなく、外国人でも自国の文化を紹介できる場の創出
- 一緒に料理を作ることでお互いの関係も深める場

### 【その他】

今のコロナの状況で何かできるか。

- ZOOMでのオンライン会議、オンライン交流会
- オンラインの中で自分の国の文化について話す場  
（自国の行事、食事などを紹介する）
- 定期的なイベント開催により、深い絆を築くことが可能
- 日本のマナーなどを学ぶ機会



## D班：今回の交流を活かすための方法

【問題提起】この交流がずっと続くためにはどうしたらいいか。

### 【具体案】

#### ○自己紹介

- みんな一人一分話し、自己紹介の中に自分の名前の由来を伝える。
- 自己紹介の後にみんなで雑談。
- グループの皆さんの性格や趣味などを知ってコミュニケーションをとることで緊張をほぐす。
- 話すことで文化の違いを知る。  
(中国では緑色のキャップを被ってはいけない。時計を贈ってはいけない、など)
- ジェスチャーゲーム

#### ○体験

- お互いの国の衣装を着て、お互いに文化を共有。
- 一緒に写真を撮ったりしたら記憶にも記録にも残る。

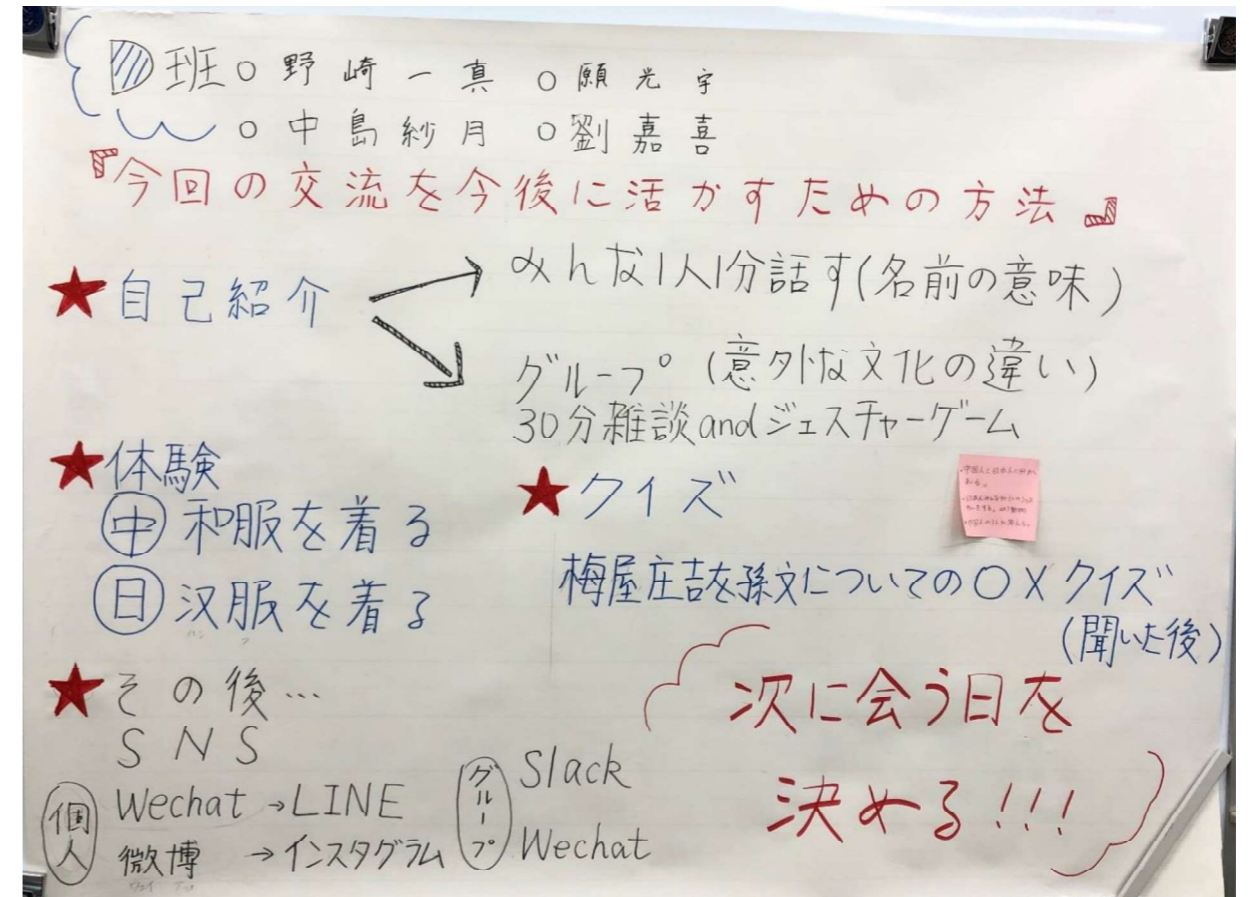
#### ○クイズ大会

- 孫文と梅屋庄吉の講演会の中で、クイズを出す。(〇×クイズなど)
- グループの人が互いに考えることでグループの仲が深まる。

#### ○その後...

- 遠く離れていてもSNSでコミュニケーションが取れる。
- Wechat や微博という中国のSNSで交流する。
- 個人個人だけではなく個々の皆さん全員でグループを作って話す。  
(情報交換もできてグループ同士ではなくこの人と話してみたかったと思えばその中から追加を押して話すこともできる。)

【まとめ】「次に会う日を決める！」



## E班：充実した長崎生活

【問題提起】日本語があまり得意ではない人たちがもっと交流しやすくして暮らしやすくするにはどうしたらいいか。

### 【具体案】

#### ○暮らしやすい長崎へ

〔悩み〕・駅の地図がわかりづらい。

- ・ごみの分別が難しい。
- ・支払い方法が少ない。
- ・手続きが難しい。

〔対策〕・駅の地図やごみの分別表を多言語化する。

- ・作ったものを一緒に見ながら、お互いの言語ではどのように言うのかを教えあいながら交流する。
- ・日本語が得意でない人のために、イラストや図を多く使う。

#### ○国際交流の充実

〔悩み〕・日本に暮らす外国人は、様々な過ごしづらさを抱えている。

〔対策〕・日本で信頼できる友達を作ることが重要。

- ・多くの人に参加しやすいハロウィン、クリスマス、お正月のような行事を使ったイベント。
- ・日本のお正月の遊び（羽子板やたこあげ）
- ・おせち料理や中国の餃子を一緒に食べたりするイベント
- ・合同のボランティア活動
- ・公務員の仕事の日体験
- ・小学生に対して自国の良さ、観光地などを紹介する授業体験
- ・チームワークで絆を深められるようなこと

The poster is titled 'E 充実した長崎生活' (E Thriving Nagasaki Life). It is divided into two main sections: '暮らしやすい長崎へ' (Towards a comfortable Nagasaki) and '国際交流の充実' (Thriving international exchange). The left side lists '悩んでいること' (Things I'm worried about) such as '駅の地図がわかりづらい' (Station map is hard to understand), 'ゴミの分別' (Waste separation), '支払い方法' (Payment methods), and '手続きが難しい' (Difficult procedures). The right side lists '祝日・行事に関するイベント' (Events related to holidays and activities) with examples like 'ハロウィンパーティー' (Halloween party), 'クリスマスパーティー' (Christmas party), 'お正月' (New Year), 'ボランティア' (Volunteer), '一日仕事体験' (One-day work experience), 'スピーチコンテスト' (Speech contest), and 'チームワーク' (Teamwork). A downward arrow points from the '悩んでいること' section to the bottom, which contains two bullet points: 'ゴミ分別について分かりやすく説明したものを、駅の地図を様々な言語バージョンで作る。' (Create easy-to-understand explanations for waste separation and station maps in various languages) and '作ったものを一緒に見ながら、お互いの言語ではどのように言うのかを教え合い交流をする。' (Share and discuss the materials together to learn how to say things in each other's languages).

楊張策 大澤歩  
澄家真美 哲琳佳

# E 充実した長崎生活

## 暮らしやすい長崎へ 国際交流の充実

悩んでいること:

- ・駅の地図がわかりづらい (バス停)
- ・ゴミの分別
- ・支払い方法
- ・手続きが難しい

祝日・行事に関するイベント

例) ・ハロウィンパーティー  
・クリスマスパーティー  
・お正月  
・ボランティア  
・一日仕事体験  
・スピーチコンテスト  
・チームワーク

↓

- ・ゴミ分別について分かりやすく説明したものを、駅の地図を様々な言語バージョンで作る。
- ・作ったものを一緒に見ながら、お互いの言語ではどのように言うのかを教え合い交流をする。